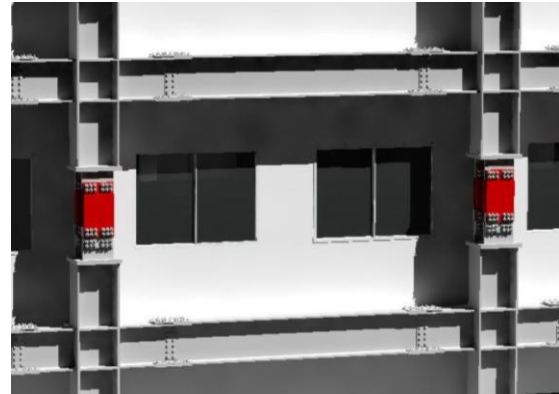


<p><b>【技術の名称】</b>                  BiD フレーム工法 Direct(D)タイプ                  -ダンパーを柱に内蔵する                  直付け型制振補強工法-</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第13-32号                  性能証明発効日：2014年6月17日</p> <p><b>【取得者】</b>                  西松建設株式会社</p>
---	---

**【技術の概要】**

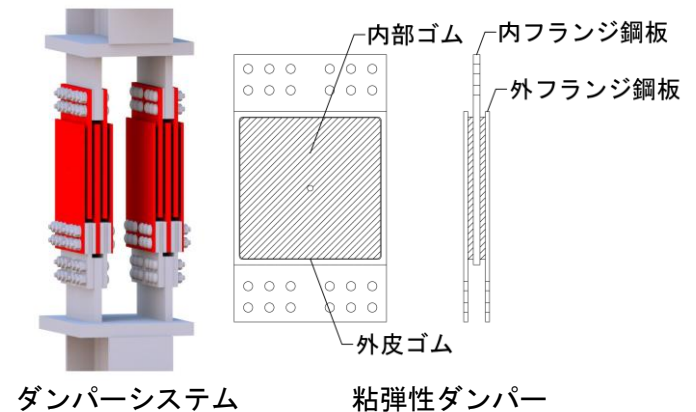
本技術は、既存建物の外側にあと施工アンカーにより外付けの鉄骨ラーメン架構を直に設置し、その鉄骨柱内に制振ダンパーを内蔵する耐震補強技術であり、大地震時においても崩壊倒壊しないことを時刻歴応答解析により確認する工法である。制振ダンパーは GBRC 性能証明 第 06-04 号および第 11-30 号を取得した粘弾性ダンパーである。同様のダンパーを用いた鉄骨ラーメン架構のアウトフレーム工法はバルコニー付き建物に使用する耐震補強技術として GBRC 性能証明 第 11-20 号を取得している。



本工法の適用例

**【技術開発の趣旨】**

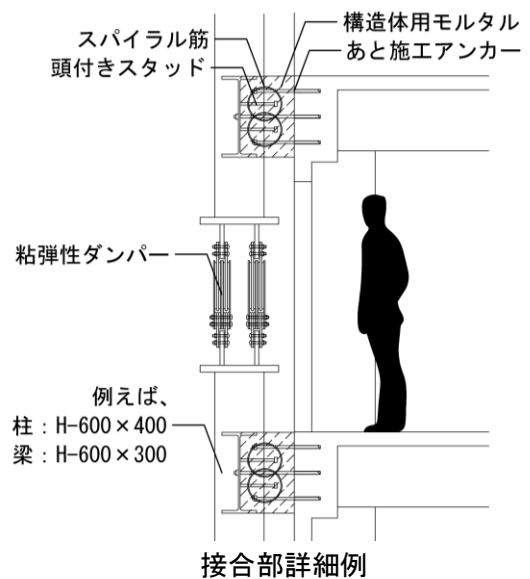
比較的高層の建物や強度型の補強ができない場合に制振補強を行うことが多い。制振補強工法にはブレース型の補強が一般的である。しかしブレース型補強は開口部を遮り機能上、美観上の問題がある。本工法では柱の中間部に制振ダンパーを内蔵するため上記の問題はない。また建物の外側からのみの工事であるため居住者は建物に住まいながらの施工が可能である。



**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者提案の「BiD フレーム工法 Direct(D)タイプ 設計・施工指針」に従って設計施工された補強後の既存建物は、極めて稀に発生する地震動に対して所定の性能を有し、同工法設計施工指針に示された方法で適切に評価できる。



**【本技術の問合せ先】**

西松建設株式会社 担当者：山崎康雄  
 〒105-8401 東京都港区虎ノ門1-20-10

E-mail：yasuo\_yamasaki@nishimatsu.co.jp  
 TEL：03-3502-7634 FAX：03-3502-0244